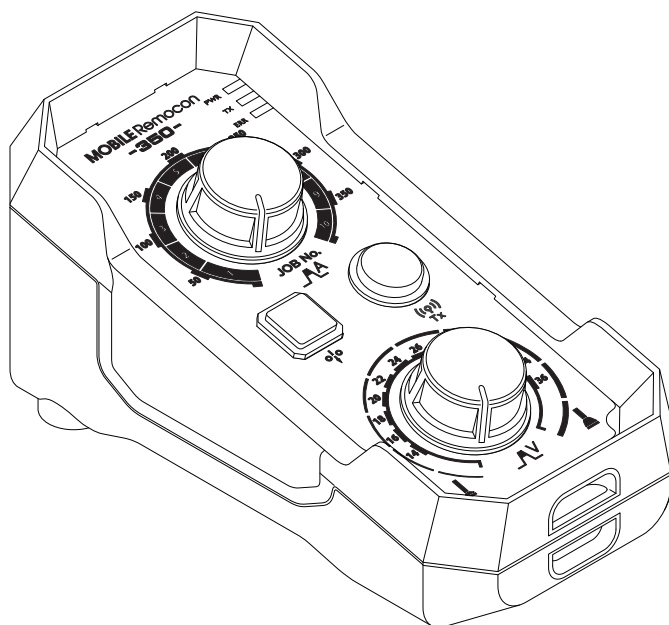


MOBILE Remocon

取扱説明書

形式：E-2642



この取扱説明書をよく
お読みのうえ、正しく
お使いください。

はじめに
重要なお知らせ
製品の用途について
無線機器の取り扱いについて
安全にご使用いただくために
アフターサービスについて

| | |
|--------------------------|----|
| 第1章 安全について | 1 |
| 1.1 警告表示の記載について | 1 |
| 1.2 安全上の注意 | 1 |
| 1.2.1 使用上の注意 | 1 |
| 1.2.2 感電の注意 | 2 |
| 第2章 概要 | 3 |
| 2.1 MOBILE Remocon の概要 | 3 |
| 2.2 製品構成 | 3 |
| 2.3 MOBILE Remocon 各部の名称 | 4 |
| 第3章 取り付け | 5 |
| 3.1 設置について | 5 |
| 3.2 MOBILE Remocon の取り付け | 6 |
| 3.2.1 乾電池のセット | 6 |
| 3.2.2 受信機の接続 | 8 |
| 3.3 目盛板の取り付け | 8 |
| 第4章 操作と設定 | 9 |
| 4.1 MOBILE Remocon の操作 | 9 |
| 4.1.1 起動と基本操作 | 9 |
| 4.1.2 電流・電圧の調整 | 10 |
| 4.1.3 インチングの操作 | 11 |
| 4.2 ペアリングの設定 | 12 |
| 第5章 トラブルシューティング | 14 |
| 5.1 トラブルシューティング | 14 |
| 第6章 資料 | 16 |
| 6.1 仕様 | 16 |
| 6.2 外形寸法図 | 16 |
| 6.3 パーツリスト | 17 |

正 誤 表 (ERRATA LIST)

E2642-4-(1) 1/1

| | |
|----------------|---|
| 誤記 ページ 7 | <p>3.2.1 乾電池のセット</p> <p>【誤】</p> <p>5. TXスイッチを押し始めてから約5秒後、LEDの状態で復帰動作開始を確認します。 ⇒MOBILE RemoconのPWR LED、TX LED、ERR LEDが3つ同時に点滅したら復帰動作を開始します。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR LED、TX LED、ERR LEDが3つ同時に点滅するまでは、TXスイッチを押し続けてください。TXスイッチから指を離した場合、手順4から操作をやり直してください。 ・TXスイッチを10秒以上押すとペアリングモードに入ります。その場合は手順4から操作をやり直してください。 <p>【正】</p> <p>5. TXスイッチを押し始めてから約5秒後、PWR LED、TX LED、ERR LEDが3つ同時に点滅し始めます。 ⇒復帰動作モードに入りましたので、TXスイッチを離してください。復帰動作が行われます。</p> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR LED、TX LED、ERR LEDが3つ同時に点滅するまでは、TXスイッチを押し続けてください。点滅開始前に、TXスイッチから指を離した場合、手順4から操作をやり直してください。 ・TXスイッチを10秒以上押すとペアリングモードに入ります (PWR LEDのみ点滅)。ペアリングを行わない場合は、TXスイッチを離してください。復帰動作を行う場合は手順4から操作をやり直してください。 |
| 12 | <p>4.2 ペアリングの設定</p> <p>【誤】</p> <p>2. MOBILE Remocon のTX スwitchを押し続けます。</p> <p>● 以降、手順5 の確認作業が完了するまでTX スwitchを押し続けたままにしてください。 ⇒ MOBILE Remocon のPWR LED が点灯します。</p> <p>【正】</p> <p>2. MOBILE Remocon のTX スwitchを押し続けます。</p> <p>● TXスイッチを押し続けると約5秒後から復帰動作モード (PWR LED、TX LED、ERR LEDが3つ同時に点滅) になり、約10秒後PWR LEDのみが点滅するペアリングモードになります。そのため、手順5 の確認作業が完了するまでTX スwitchを押し続けたままにしてください。 ⇒ MOBILE Remocon のPWR LED が点灯します。</p> |

はじめに

このたびは、ダイヘンの MOBILE Remocon（E-2642）をご採用いただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書（以降、本書と呼びます）は、MOBILE Remocon を正しく取り扱うように、次の事項について記載されています。

- ・ 本製品に関する注意事項
- ・ 接続方法
- ・ 操作方法 / 設定方法

本書をお読みになったあとは、溶接電源の取扱説明書、保証書とともに関係者がいつでも見られる場所に大切に保管してください。

重要なお知らせ

製品の用途について

本製品は弊社の溶接電源の操作を、遠隔で行うことを目的としています。

無線機器の取り扱いについて

MOBILE Remocon および受信機は、無線機器として技術基準適合証明ならびに工事設計認証を受けております。本製品を分解・改造すると、技術基準適合証明および工事設計認証は無効となります。また、分解・改造した状態で本製品を使用すると、電波法違反として処罰の対象となる場合があります。

安全にご使用いただくために

本製品を安全にご使用いただくために、次のことをお守りください。

- ・ 本書は、本書に記載された言語を理解できる人を対象に作成しています。この言語を理解できない人に本製品の取り扱いをさせる場合は、お客様の責任で作業者に安全教育と取り扱い指導を徹底してください。
- ・ 人身事故や器物の損傷を防止するため、ご使用になる前に、必ず本書をよくお読みいただき、記載されている内容をお守りください。また、本書に記載されていないことは、行わないでください。
- ・ 本書に不備が発見された場合は、速やかに販売店もしくは弊社営業所までご連絡ください。

アフターサービスについて

MOBILE Remocon についてのご不明な点は、最寄りのダイヘンテクノス サービスセンターまでご連絡ください。お問い合わせ先の詳細については、溶接電源取扱説明書の裏表紙をご覧ください。なお、ご連絡時には、次のことをお知らせ願います。

- ・ お客様のお名前、所在地、および電話番号
- ・ 本製品の形式、製造年、製造番号



第 1 章 安全について

1.1 警告表示の記載について



本書では、MOBILE Remocon を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害、および財産への損害を未然に防止するために、様々な警告表示を用いて説明しています。その表示と意味は、次のとおりです。

記載された内容をよく理解の上、必ずお守りください。

次の表示は、危険や損害の程度を区分して警告します。

| 表示 | 内容 |
|--|--|
|  危 険 | 誤った取り扱いをすると、危険な状態が起こる可能性があり、人が死亡または重傷を負う危険性がある内容を示しています。 |
|  注 意 | 誤った取り扱いをすると、人が中程度の負傷や軽傷を負う可能性がある内容、物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

次の表示は、お守り頂く内容を絵記号で区分しています。

| 表示 | 内容 |
|---|----------------------------------|
|  | 強制：しなければならない内容を示しています。必ずお守りください。 |
|  | 禁止：してはいけない内容を示しています。必ずお守りください。 |

1.2 安全上の注意

本項では、MOBILE Remocon および溶接電源に関する注意事項について説明します。

1.2.1 使用上の注意

重大な人身事故や機器の破損を防止するため、必ず次の事項をお守りください。

危 険

- MOBILE Remocon を高所で使用する場合、MOBILE Remocon の落下を防止するため、必ずストラップ等を利用してください。高所にマグネットのみで固定すると、MOBILE Remocon の落下による重大な人身事故を引き起こす恐れがあります。

注 意

- MOBILE Remocon は、溶接により加熱している箇所や、その付近に置かないでください。

1.2.2 感電の注意

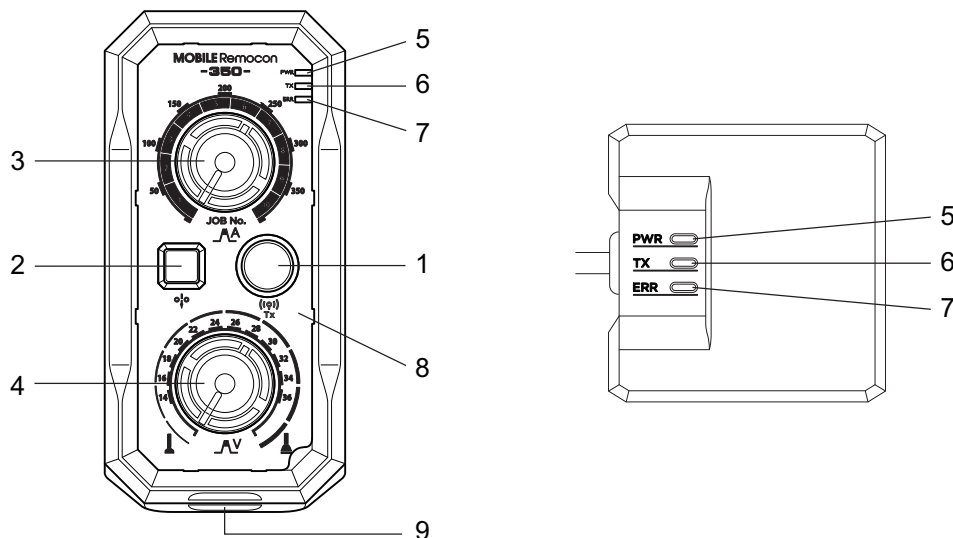
感電や火傷を防止するため、必ず次の事項をお守りください。



⚠ 危険

- ・ 溶接電源の入力端子、出力端子および内部の帯電部に触れないでください。
- ・ 保護手袋は、常に乾いた絶縁性のよいものを使用してください。破れたり濡れた手袋は、使用しないでください。
- ・ ケーブルの接続部は、確実に締め付けて絶縁してください。
- ・ 容量不足のケーブル、および損傷や導体がむき出したケーブルは、使用しないでください。
- ・ 作業上、指示されている箇所以外は絶対に触らないでください。
感電および装置の故障を引き起こす可能性があります。

2.3 MOBILE Remocon 各部の名称



| 番号 | 名称 | | 機能 |
|----|--------------|------------------|--|
| 1 | TX スイッチ | | <ul style="list-style-type: none"> スイッチを押すと溶接電源と通信開始し、MOBILE Remocon で設定した条件が送信されます。送信中は、MOBILE Remocon の PWR LED が点灯します。 10 秒以上スイッチを押すとペアリングモードに入ります。 (☞ 4.2 ペアリングの設定) 乾電池を入れ替えたときは 5 ～ 10 秒の間でスイッチを押してください。(☞ 3.2.1 乾電池のセット) PWR LED が点灯中にスイッチを押すと電源が切れ、PWR LED が消灯します。長時間使用しない場合は、電源を切るようにしてください。 |
| 2 | インチャージングスイッチ | | スイッチを押している間、ワイヤを送給します。 |
| 3 | 溶接電流調整ツマミ | | 溶接電流を調整します。 |
| 4 | 溶接電圧調整ツマミ | | 溶接電圧を調整します。 |
| 5 | PWR LED | MOBILE Remocon 側 | <ul style="list-style-type: none"> TX スイッチを押す時間が 10 秒未満の場合、点灯します。点灯中は MOBILE Remocon で設定した条件が設定されます。 点灯中に TX スイッチを押すと消灯し、電源が切れます。 ペアリングモード時は点滅します。 電池が消耗している場合は、ゆっくりと点滅します。 |
| | | 受信機側 | 溶接電源に電源が投入されると点灯します。また、ペアリングモード指示を受信すると点滅します。 |
| 6 | TX LED | MOBILE Remocon 側 | TX スイッチを押して溶接電源に条件を送信している間、点滅します。また、ペアリング正常終了すると点灯します。 |
| | | 受信機側 | MOBILE Remocon からのイベント受信中に点滅します。またペアリング成功時に点滅します。 |
| 7 | ERR LED | MOBILE Remocon 側 | 送信中に受信機からの応答がない場合、一定期間点滅します。 |
| | | 受信機側 | インチャージングセーフティ機能がはたらくと点滅します。 |
| 8 | 目盛板 | | 溶接電源の仕様に合わせて 350A または 500A の目盛板を取り付けます。(上記の図では例として 350A を取り付けた状態を示しています。) |
| 9 | ストラップホール | | 落下防止のためのストラップ等をとおす穴です。高所で作業する場合は必ずストラップを利用し、落下防止策をとった上で MOBILE Remocon を使用してください。 |

第 3 章 取り付け

3.1 設置について

本製品は弊社の溶接電源に受信機を接続して使用します。適合しない溶接電源では使用できません。
以下の溶接電源が適合します。

| | |
|----------------|--|
| Welbee シリーズ | WB-M350L、WB-M350、WB-M500、WB-P350、WB-P350L、WB-P500L、WB-W350 |
| Welbee II シリーズ | WB-M352L、WB-M352、WB-M502、WB-P352、WB-P352L、WB-P502L、WB-M502GS (変換ケーブル K8116E00 が必要です。) |
| D.connect シリーズ | CPXW-500 (接続キット K5960W00 が必要です。) |
| D シリーズ | DM-350 (S-2 をお使いの場合、ファンクション番号の『21』を『on』に設定してください。) ※ DM-353 (S-1 をお使いの場合、ファンクション番号の『20』を『on』に設定してください。) ※ DM-500 (S-1 をお使いの場合、ファンクション番号の『15』を『on』に設定してください。) ※ |

※：ファンクションの設定方法については、溶接電源の取扱説明書をご覧ください。

3.2 MOBILE Remocon の取り付け

3.2.1 乾電池のセット

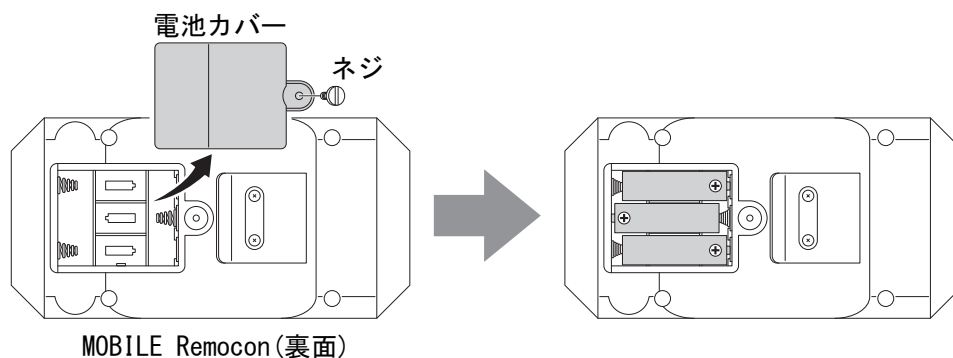
注 記

- ・ 電池の極性（+ / -）に注意し、逆に挿入しないでください。液漏れの原因になります。
- ・ 使用済みの電池のショート、充電、分解および火中への投下は絶対にお止めください。破裂する恐れがあります。
- ・ 使用済みの電池は地域で定められた法令に則って処分してください。
- ・ アルカリ電池とマンガン電池の混在、メーカーや銘柄の異なる電池の混在は避けてください。発熱、液漏れ、破裂を起こす恐れがあります。
- ・ 電池を交換するときは、全ての電池を交換してください。古い電池と新しい電池を混在して使用すると、液漏れを起こす恐れがあります。
- ・ 電池交換の際は、使用推奨期限内の電池を使用してください。
- ・ 付属の乾電池は動作確認用です。電池が消耗している場合がありますので、早めの交換をお勧めします。
- ・ 電池が消耗している場合は、MOBILE Remocon の PWR LED がゆっくりと点滅します。この状態で使用を続けると、一定時間で使用できなくなります。ゆっくりと点滅した場合は、電池を速やかに交換してください。また、電池を交換した際は必ず、手順 4 ～ 6 の復帰動作を行ってください。

1. MOBILE Remocon 裏面にある電池カバーを開けます。

- マイナスドライバーで電池カバーを固定しているネジを外してください。

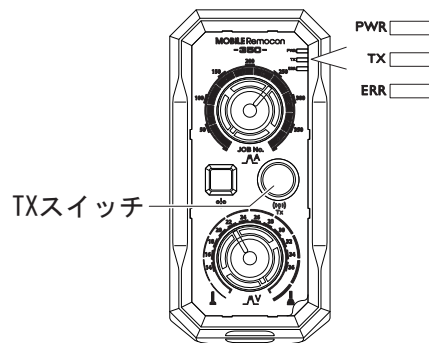
2. 内部の+、-の表示を確認し、単 3 乾電池（×3）を挿入します。



3. 電池カバーを閉めます。

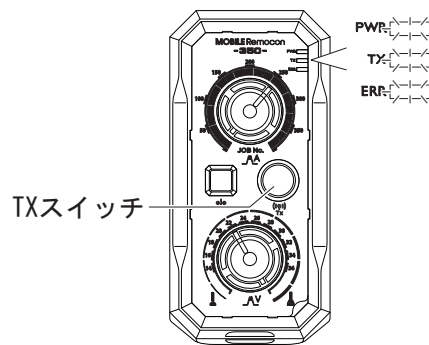
4. MOBILE Remocon の TX スイッチを押し続けます。

- 以降、手順 5 の確認作業が完了するまで TX スイッチを押し続けたままにしてください。



5. TX スイッチを押し始めてから約 5 秒後、LED の状態で復帰動作開始を確認します。

⇒ MOBILE Remocon の PWR LED、TX LED、ERR LED が 3 つ同時に点滅したら復帰動作を開始します。

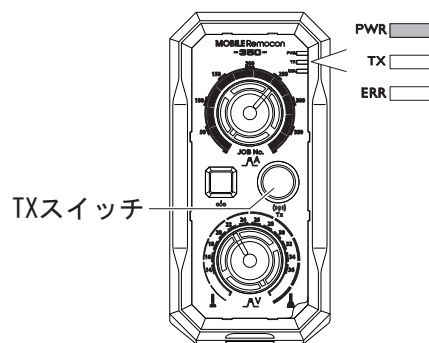


注 記

- ・ PWR LED、TX LED、ERR LED が 3 つ同時に点滅するまでは、TX スイッチを押し続けてください。TX スイッチから指を離した場合、手順 4 から操作をやり直してください。
- ・ TX スイッチを 10 秒以上押すとペアリングモードに入ります。その場合は手順 4 から操作をやり直してください。

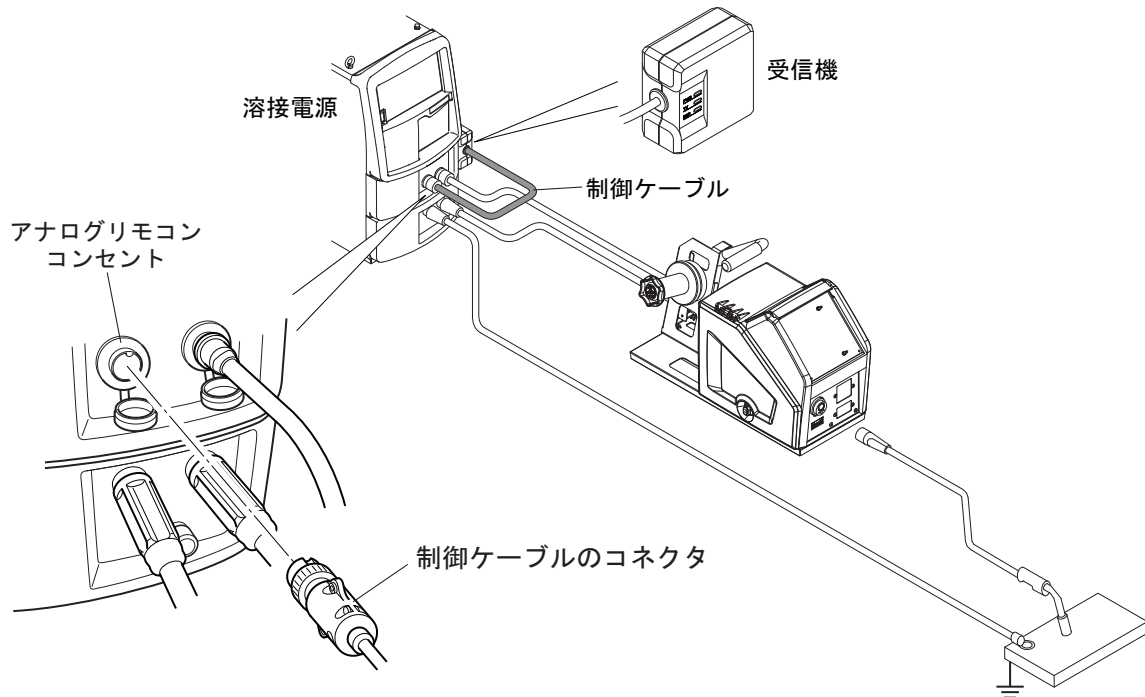
6. 押し続けていた TX スイッチから指を離します。

⇒ MOBILE Remocon の PWR LED が点灯したら復帰動作は完了です。



3.2.2 受信機の接続

1. 溶接電源の電源スイッチを OFF にし、溶接電源への電源供給を遮断します。
2. アナログリモコンコンセントのキャップを外し、受信機の制御ケーブル（6 心）を接続します。



3. 溶接電源の側面に受信機を取り付けます。

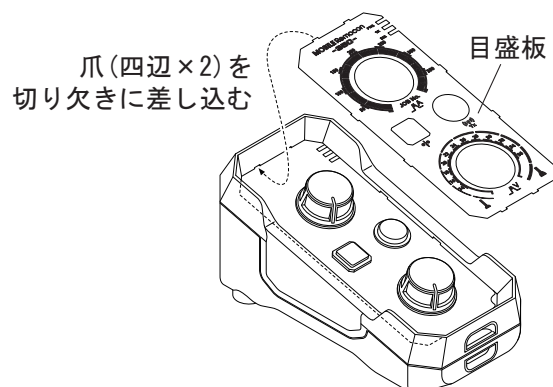
● 受信機にはマグネットが付いていますので、側面カバーなど金属板部分に取り付けてください。

3.3 目盛板の取り付け

使用する溶接電源に合わせて、350A または 500A の目盛板を取り付けてください。

1. MOBILE Remocon 前面の切り欠きに合わせて目盛板をはめ込みます。

- 目盛板の上下の向きは、LED 用に空いている窓の位置で確認してください。
- 目盛板の四辺にそれぞれに爪が二つずつありますので、MOBILE Remocon 前面の切り欠きに合わせて差し込んでください。



第 4 章 操作と設定

4.1 MOBILE Remocon の操作

4.1.1 起動と基本操作

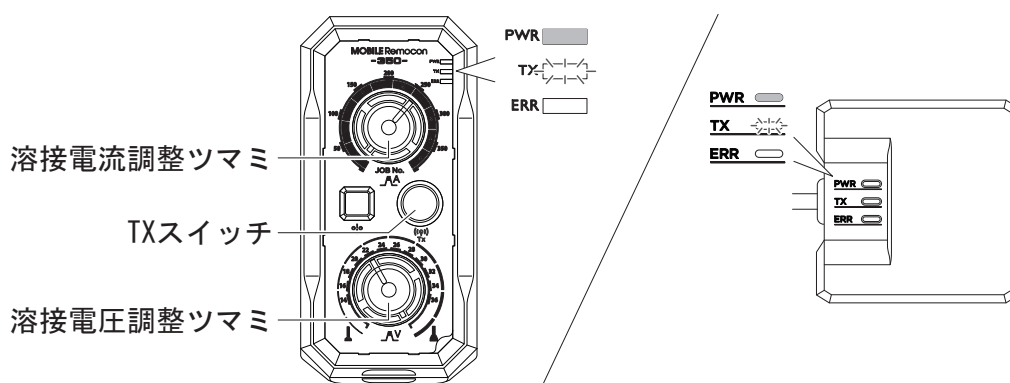
注 記

- MOBILE Remocon の接続時は、MOBILE Remocon 側の設定が優先されるため、溶接電源の操作パネルで本条件を設定することはできません。（初期条件、およびクレータ条件は、溶接電源の操作パネルで設定できます。）

1. 溶接電源の電源を ON にします。

⇒ 受信機に電源が投入され、受信機の PWR LED が点灯します。

2. 溶接電流調整つまみ、溶接電圧調整つまみで溶接電流と溶接電圧を調整します。



3. TX スイッチを押します。

⇒ MOBILE Remocon で調整した溶接電流、溶接電圧の値が受信機に送信されます。

⇒ 送信中、LED は以下のように表示されます。

| | | |
|---------|-----------|--|
| PWR LED | Remocon 側 | TX スイッチを押す時間が 10 秒未満の場合、点灯します。点灯している間のみ、溶接電流、溶接電圧の値が受信機に送信されます。点灯中に TX スイッチを押すと消灯し、電源が切れます。電池が消耗している場合は、ゆっくりと点滅します。ゆっくりと点滅した場合は、電池を速やかに交換してください。 |
| | 受信機側 | 送受信に関係なく、溶接電源の電源が ON であれば点灯します。 |
| TX LED | Remocon 側 | 送信中は点滅します。送信が完了すると消灯します。 |
| | 受信機側 | 受信中は点滅します。受信が完了すると消灯します。 |

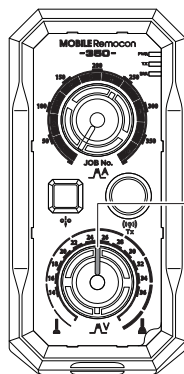
注 記

- 溶接電源の電源スイッチを OFF にするときは、MOBILE Remocon の TX スイッチを押して、PWR LED を消灯させてください。PWR LED を消灯させることで、電池の消耗を抑えることができます。

4.1.2 電流・電圧の調整

■ 溶接電圧の一元調整／個別調整

溶接電源の一元、個別の設定に応じて、溶接電圧の調整は以下のような調整方法となります。



一元モードの場合、
中央を基準に電圧調整

- － 一元モード時：溶接電流に応じた最適な溶接電圧が自動設定され、設定された溶接電圧に対して微調整できます。溶接電圧調整ツマミを中央位置に合わせ、この位置を基準に電圧低め／高めを調整してください。
- － 個別モード時：溶接電流に影響されず、溶接電圧を単独で調整できます。

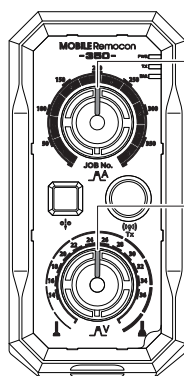
／参考

- ・ 一元、個別の切り替えについては、溶接電源取扱説明書をご覧ください。

■ 電流・電圧の微調整

お使いの機種が Welbee シリーズまたは D シリーズの場合、MOBILE Remocon の電流、電圧の調整を“微調整”のレベルに限定できます。

この機能を使用するには、溶接電源の内部機能（ファンクション）の設定変更が必要です。



中央を基準に電流調整

中央を基準に電圧調整

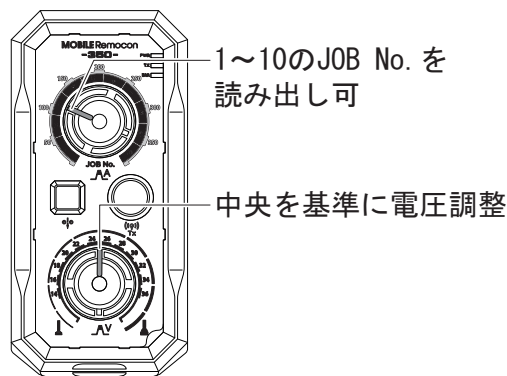
- － 微調整の設定範囲：1～30%（Welbee シリーズの場合）、20%（D シリーズの場合）
- － 調整ツマミを中央に合わせたときは、メモリ登録されている溶接条件の電流値、電圧値になります。電流値、電圧値は、調整ツマミの中央を基準に調整します。電流値、電圧値を低くしたい場合は調整ツマミを反時計回りに回し、高くしたい場合は調整ツマミを時計回りに回してください。

参 考

- ・ 電流、電圧の微調整の詳細については、溶接電源取扱説明書の「6.X.X.X F11：溶接条件メモリ微調整」(Welbee シリーズ)、「10.2.1(X) 溶接条件メモリ微調整の設定」(D シリーズ)をご覧ください。項目番号はお使いの溶接電源により異なります。
(上記の取扱説明書の内容は別売品のアナログリモコンを対象とした説明ですが、MOBILE Remocon に対しても同じ条件が適用されます。)

■ 溶接条件読み出し

お使いの機種が Welbee シリーズまたは D シリーズの場合、MOBILE Remocon での溶接電流の調整は行わず、溶接電流調整ツマミを溶接条件の読み出しに使用することができます。
この機能を使用するには、溶接電源の内部機能（ファンクション）の設定変更が必要です。



- － MOBILE Remocon の溶接電流調整ツマミを目盛板「JOB No.」の「1」～「10」に合わせることで、条件番号 1 ～ 10 に登録された溶接条件を読み出すことができます。
- － 読み出された溶接条件の電圧値を溶接電圧調整ツマミで微調整することもできます。(％調整) 電圧値は、溶接電圧調整ツマミの中央を基準に調整します。電圧値を低くしたい場合は調整ツマミを反時計回りに回し、高くしたい場合は調整ツマミを時計回りに回してください。電圧値の微調整幅は、最大で ±20% です。

参 考

- ・ 溶接条件読み出しの詳細については、溶接電源取扱説明書の「6.X.X.X F44：リモコンによる溶接条件読み出し」(Welbee シリーズ)、「10.2.1(X) リモコンによる条件読み出し切替」(D シリーズ)をご覧ください。項目番号はお使いの溶接電源により異なります。
(上記の取扱説明書の内容は別売品のアナログリモコンを対象とした説明ですが、MOBILE Remocon に対しても同じ条件が適用されます。)

4.1.3 インチングの操作

インチングスイッチを押している間、ワイヤが送給されます。
インチングスイッチを押しながら、電流設定ツマミを操作すると、ワイヤ送給速度を調整できます。

参 考

- ・ インチングの詳細については、溶接電源取扱説明書の「5.4 ワイヤのインチング」をご覧ください。

4.2 ペアリングの設定

ペアリングとは、MOBILE Remocon (E-2642B) と受信機 (E-2642C) を一対として認識させる設定です。通常、MOBILE Remocon と受信機はペアリング設定された状態で出荷していますので再設定の必要ありませんが、故障等により片方を交換した場合など、ペアリングの設定が必要になる場合があります。

参 考

- 一つの MOBILE Remocon から複数の受信機に送信したり、一つの受信機で複数の MOBILE Remocon から受信したりすることはできません。

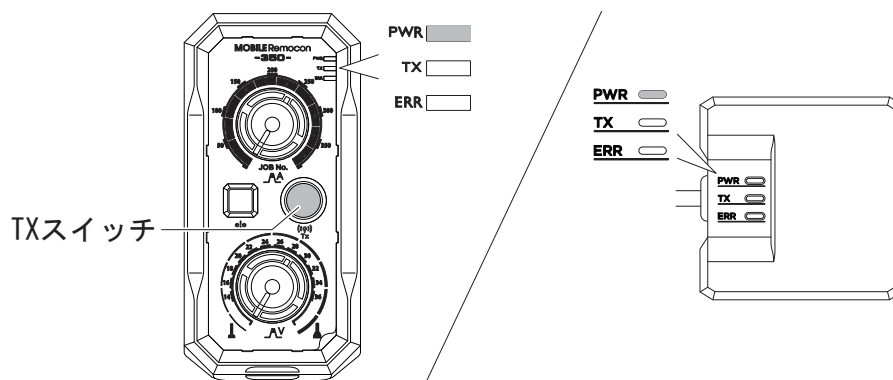
1. 溶接電源の電源スイッチを ON にします。

⇒ 受信機の PWR LED が点灯します。

2. MOBILE Remocon の TX スイッチを押し続けます。

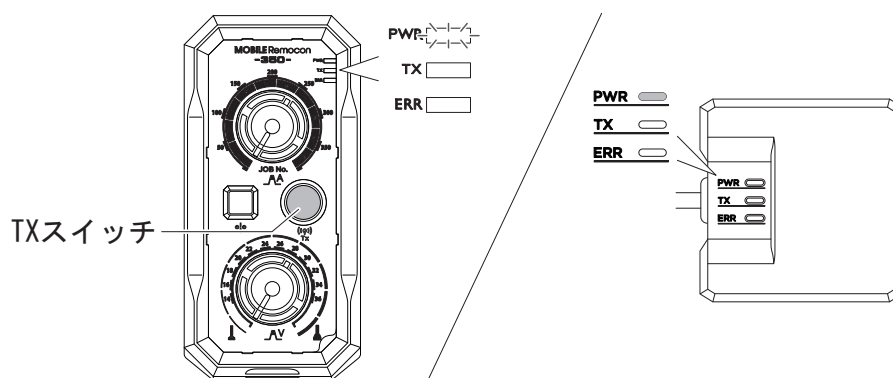
- 以降、手順 5 の確認作業が完了するまで TX スイッチを押し続けたままにしてください。

⇒ MOBILE Remocon の PWR LED が点灯します。



3. TX スイッチを押し始めてから約 10 秒後、PWR LED の状態を確認します。

- MOBILE Remocon の PWR LED が点滅していることを確認してください。
- MOBILE Remocon を受信機に近づけてください。(50cm 以内)

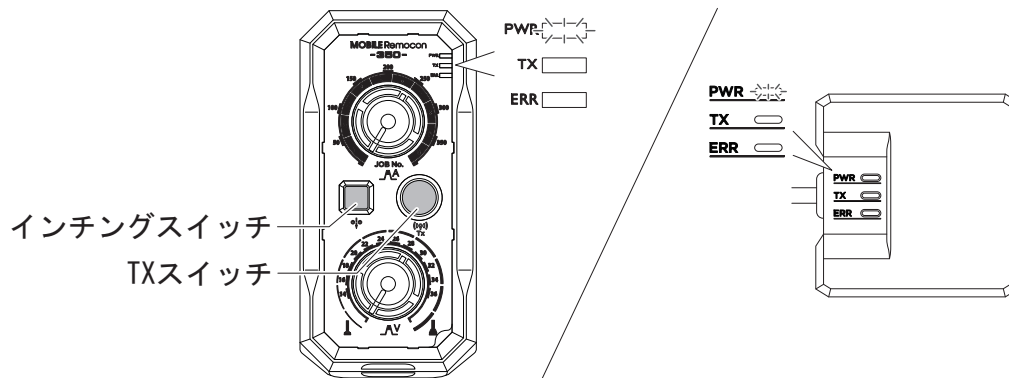


注 記

- TX スイッチは押し続けてください。TX スイッチから指を離した場合、最初から操作をやり直してください。

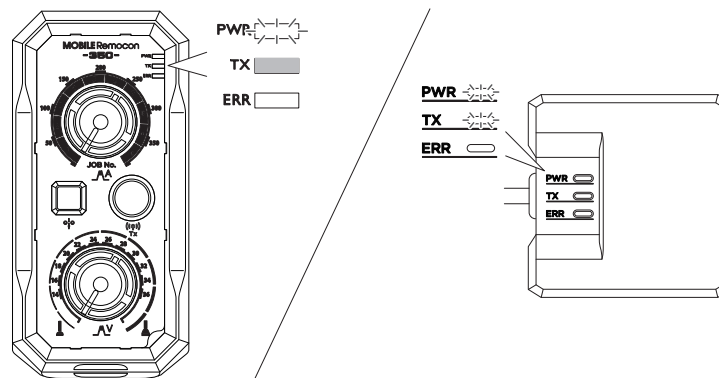
4. 受信機の PWR LED が点滅したら、3 秒以内にインチングスイッチを 1 回押します。

- TX スイッチを押し続けたまま、インチングスイッチを押してください。



5. LED の状態でペアリング完了を確認します。

⇒ MOBILE Remocon の TX LED が点灯、受信機の TX LED が点滅したらペアリングは完了です。



6. 押し続けていた TX スイッチから指を離します。

⇒ MOBILE Remocon の LED は全て消灯します。

第 5 章 トラブルシューティング

5.1 トラブルシューティング

ここでは、代表的なトラブル、およびその原因と対処方法について説明します。修理を依頼される前に、下表の内容を確認してください。

トラブルに関する不明点については、販売店もしくは弊社営業所までお問い合わせください。

参 考

- ・ 溶接電源に「E-020」以外の異常コードが表示された場合の対処については、それぞれ以下の項目をご覧ください。
 - － Welbee シリーズ：溶接電源取扱説明書の「9.1 エラー発生時の対処」
 - － D.connect シリーズ：溶接電源取扱説明書の「8.1 エラー発生時の対処」
 - － D シリーズ：溶接電源取扱説明書の「12.5 異常が発生した場合」

| No. | トラブルの現象 | | 故障 / 異常原因 | 対処方法 |
|-----|--|----------------------------|-----------------------------|--|
| 1 | TX スイッチを 1 秒以上押しても、Remocon 側の PWR LED が点灯しない | | 電池が入っていない | 電池を入れてください。 |
| | | | 電池の向き（＋、－）が逆になっている | 電池を正しい向きで入れてください。 |
| | | | 電池が消耗している | 電池を新品に交換してください。また、電池を交換した際は、本書の「3.2.1 乾電池のセット」の手順に従って復帰動作を必ず行ってください。 |
| | | | TX スイッチの周辺にゴミが詰まってスイッチが押せない | TX スイッチの周辺を清掃してください。 |
| | | | 電池交換後、復帰動作を行っていない | 本書の「3.2.1 乾電池のセット」の手順に従って復帰動作を行ってください。 |
| 2 | TX スイッチを 1 秒以上押したとき、Remocon 側の PWR LED がゆっくり点滅する | | 電池が消耗している | 電池を新品に交換してください。また、電池を交換した際は、本書の「3.2.1 乾電池のセット」の手順に従って復帰動作を必ず行ってください。 |
| 3 | 受信機の PWR LED が点灯しない | 溶接電源の操作パネル部電流・電圧 LED も表示無し | 溶接電源の異常 | Welbee シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「9.2 トラブルシューティング」、D.connect シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「8.2 トラブルシューティング」、D シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「12.6 故障とその対策」参照 |
| | | 溶接電源の操作パネル部電流・電圧 LED は表示あり | 制御ケーブルの異常 | ケーブルの断線、コネクタの接続を確認 |

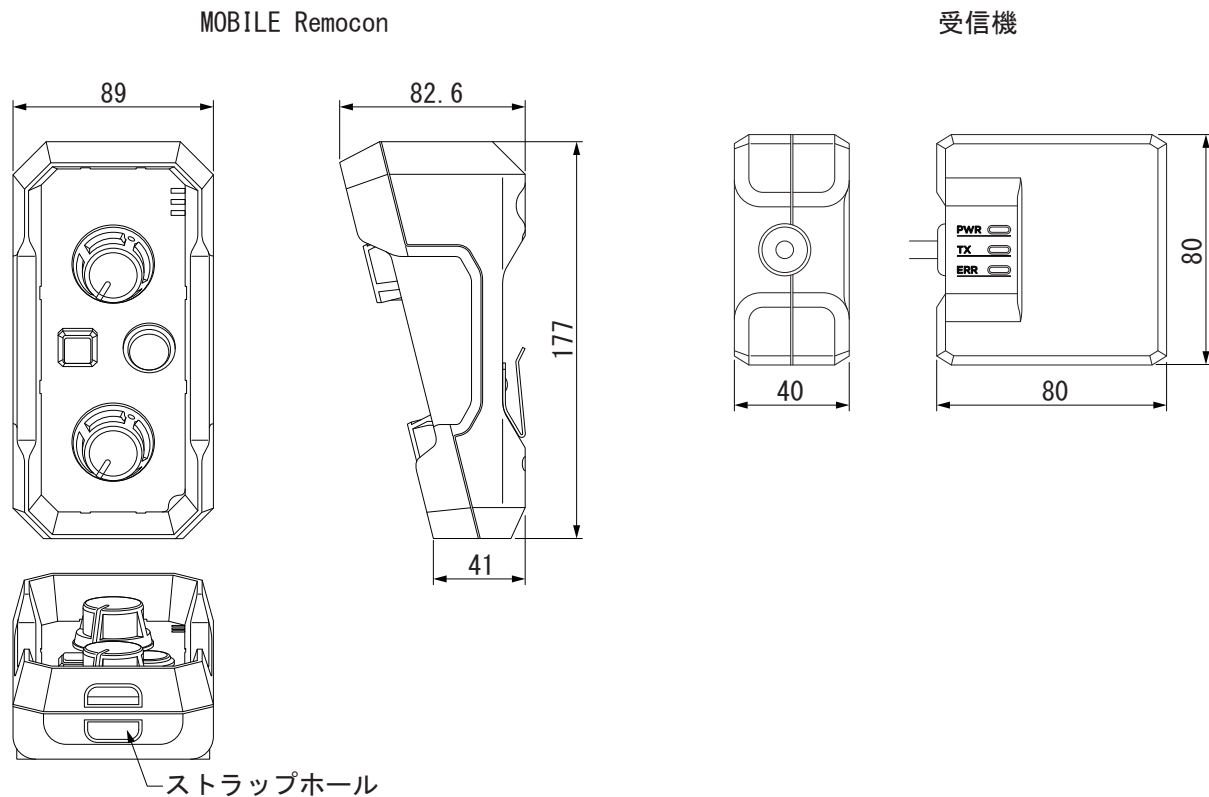
| No. | トラブルの現象 | | 故障 / 異常原因 | 対処方法 |
|-----|--|---|--|--|
| 4 | <ul style="list-style-type: none">Remocon 側の ERR LED が点滅する受信機側の TX LED が点滅しない受信機側の ERR LED が点滅する | 溶接電源の操作パネル部電流・電圧 LED も表示無し | 溶接電源の異常 | Welbee シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「9.2 トラブルシューティング」、D.connect シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「8.2 トラブルシューティング」、D シリーズの場合は、溶接電源取扱説明書の「12.6 故障とその対策」参照 |
| | | 溶接電源の操作パネル部電流・電圧 LED は表示あり | 受信機が接続されていない | 受信機を溶接電源に接続してください。 |
| | | | Remocon と受信機の距離が 50m 以上離れている。 | Remocon と受信機の距離を 50m 以内に使用してください。 |
| | | | Remocon と受信機の間に壁などの遮蔽物がある | Remocon と受信機の間の遮蔽物を取り除いてください。 |
| | | | 周波数 920MHz 帯に妨害電波が出ている | 妨害電波の発生源が特定できる場合は発生源を遠ざけてください。 |
| | | | ペアリングが正常に行えていない | 本書の「4.2 ペアリングの設定」の手順に従ってペアリングを行ってください。 |
| 5 | 溶接電源に「E-020」の異常コードが表示される | 溶接電源の電源スイッチを ON したとき、Remocon のインチャージスイッチを押した状態である | インチャージスイッチを ON（押された状態）にしていなことを確認してください。 インチャージスイッチの周辺にゴミが詰まっている場合は、スイッチの周辺を清掃してください。 | |
| 6 | 電池の消耗が早い | 非常に寒いところで使用している | MOBILE Remocon を使用しないときは、電池が入った MOBILE Remocon は常温で保管してください。 | |
| | | 非常に暑いところで使用している | | |
| | | 電池の端子が汚れている | 電池の端子を乾いたきれいな布で拭いてください。 | |
| | | 同じ充電電池を繰り返し使用している | 充電電池の寿命の可能性あります。新品の電池と交換してください。 | |
| | | 電池を新品に交換後、すぐに電池が切れる | 本書の「3.2.1 乾電池のセット」の手順に従って復帰動作を行っているか確認してください。また、PWR LED が点灯中に TX スイッチを押すと電源が切れ、PWR LED が消灯します。長時間使用しない場合は、電源を切るようにしてください。 上記全て確認した上で、改善しない場合は弊社営業所までお問い合わせください。 | |

第 6 章 資料

6.1 仕様

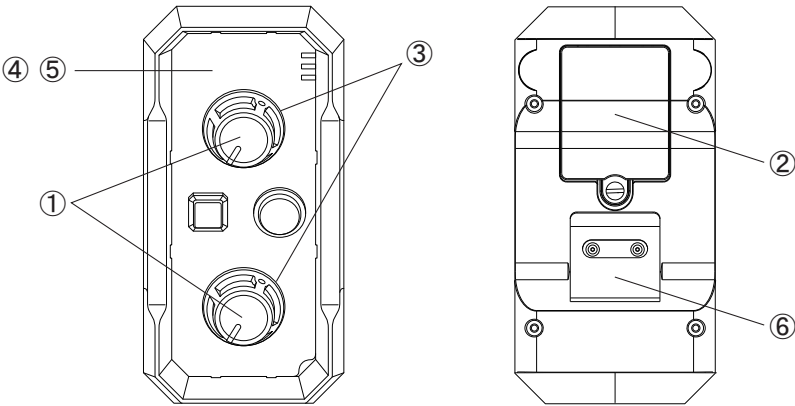
| | MOBILE Remocon | 受信機 |
|------------|---|------------------|
| 形 式 | E-2642B | E-2642C |
| 寸法 (W×H×D) | 89×82.6×177 (単位 mm) | 80×40×80 (単位 mm) |
| 質 量 | 500g | 200g |
| 定格入力電圧 | DC3.0 ～ 5.0V | DC15V |
| 入力電圧範囲 | DC3.0 ～ 5.0V | DC15V±5%以内 |
| 電 池 | 単 3 形ニッケル水素電池 / 単 3 形アルカリ乾電池 3 本 | — |
| 使用温度範囲 | － 10 ～ 40 ℃ | |
| 使用湿度範囲 | 50% まで (40 ℃の場合) / 90% まで (20 ℃の場合) | |
| 保存温度範囲 | － 20 ～ 55 ℃ | |
| 保存湿度範囲 | 50% まで (40 ℃の場合) / 90% まで (20 ℃の場合) | |
| 防水防滴性能 | IP23 | |
| 適合規格 | 国内 ARIB STD-T108 に準拠 (日本国内での使用に限定されます。) | |

6.2 外形寸法図



6.3 パーツリスト

| 符号 | 部品番号 | 品名 | 仕様 | 所要量 | 備考 |
|----|-----------|----------------|-----------|-----|------|
| — | E-2642B00 | MOBILE Remocon | E-2642B00 | 1 | |
| — | E-2642C00 | 受信機 | E-2642C00 | 1 | |
| ① | E2642J00 | ツマミ | E2642J00 | 2 | |
| ② | E2642K00 | 電池カバー | E2642K00 | 1 | ネジ付き |
| ③ | 3570-126 | Oリング | P9-1B | 2 | |
| ④ | E2642G11 | パネル 350A | E2642G11 | 1 | |
| ⑤ | E2642G04 | パネル 500A | E2642G04 | 1 | |
| ⑥ | E2642G10 | フック | E2642G10 | 1 | |



注 記

- MOBILE Remocon および受信機は、無線機器として技術基準適合証明ならびに工事設計認証を受けております。本製品を分解・改造すると、技術基準適合証明および工事設計認証は無効となります。また、分解・改造した状態で本製品を使用すると、電波法違反として処罰の対象となる場合があります。
そのため、内部部品の修理はできません。

